

問題

圧力団体の意義及び機能を述べ、政党との相違点を説明せよ。

解答のポイント

まずは、圧力団体の定義を書くこと。「特殊利益」、「公共政策（あるいは政策過程）に影響力を行使する」等の特徴を示しつつ書けるとよい。

次に「意義」について、「政党の機能の補完」に触れておきたい。これはつまり「代表制の補完機能」なのだが、問題文で「意義」と「機能」が分かれているので、ここで書いておこう。

そして「機能」について、順機能と逆機能の両方を書いておくといいたい。解答例のようにすべてを挙げるのは制限時間ではなかなか難しく、実際の試験では自己の判断である程度絞ることになるが、「利益表出機能」、「代表制の補完機能」の2つは当然挙げておくべきである。

最後に、政党との相違点について、できれば「政権獲得を目指すか、目指さないか」と「包括的・一般的利益の実現を目指すか、個別特殊的な利益の実現を目指すか」の両方を書いておきたい。

なお、圧力団体の最大の意義は政党の補完なのだから、本来であれば、「定義→政党との相違点→意義→機能」という流れの方が自然である。解答例では問題文に合わせた順番にしているが、一通り論点に触れていれば、順番は変わっていてもかまわないだろう。

解答例

「圧力団体」とは、自己の個別特殊な利益を維持・拡大するために、立法府や行政府に働きかけて、公共政策・政策過程に対して影響力を及ぼそうとする私的な団体のことである。具体例としては、経営者団体・労働組合・同業者組合・宗教団体等が挙げられる。

圧力団体の最大の意義は、政党の機能を補完することにある。政党は選挙で多くの票を集めるため、幅広い層の多様な利益・要求を採り入れて集約・調整する必要がある。特に、普通選挙の導入後は大衆政党に変貌したことで、個別特殊な利益が代表されにくくなった。そこで圧力団体は、選挙だけでは十分に反映されえない個別的利益を吸収し、その圧力活動を通して当該利益を政治に反映させようとする役割を果たす。

次に圧力団体の機能のうち、順機能として、利益表出機能がある。これは圧力団体の成員等の顕在的・潜在的要求を集約・組織し、具体的な要求として政治過程において表現することである。他には、前述のように政党の機能を補完する代表制の補完機能、政府・議会・国民一般に情報を提供する機能等もある。一方で、逆機能としては、圧力団体の加入者が実際には社会的地位の高い者に偏っていることで社会的弱者の利益よりもエリートの利益を拡大させるのに利しているという点や、既得権を守ろうとする団体の圧力活動が政治過程に悪影響を及ぼすことがあるという点などが指摘されている。

最後に政党と圧力団体の相違点について、政党は政権を獲得し権力を手にすることで自己の理念・政策を実現させようとするのに対して、圧力団体は自らは政権獲得せずに立法府や行政府に働きかけることで自己の理念・政策

を実現させようとする点が異なる。また、前述のように、政党は包括的・一般的な利益の実現を志向するのに対して、圧力団体は自己の個別特殊的な利益の実現を志向する点にも違いがある。

以上
(766 字)

TAC 生はココで解けた！

専門記述対策レジュメ（政治系）P. 68 ページに掲載している東京都 I 類 B の過去問と同テーマの問題であるため、こちらをしっかりと学習していれば解けたはずである。